

やまなみ五湖賞

水を使い続けていくために

いつも私たちの身近にある水。私たちが生きていくためにも、スポーツをしていくためにも、水がなければ、私たちは何もかもできない。日々、水を使わずに生活している人は存在しない。水がなければ、喉を潤すことができない。水がなければ、お風呂に入ることができない。水がなければ、米を炊くことができない。どれほど水が私たちの生活と密接に関わっているのかわかるだろう。私はサッカーをしている。夏の暑い日の練習では一日で二リットルの水を飲んでいく。たくさん動いて汗を流した後に飲む水はとても美味しい。体に染み渡り、疲れをとってくれる。

そんな水はどこから手に入れているのだろうか。私が住んでいる神奈川県では、宮ヶ瀬ダムというところが水を供給している。宮ヶ瀬ダムは関東地方で最も大きいダムであり、まるで「私たちの心臓」のようなものだ。しかし、今そんな宮ヶ瀬ダムが危険な状況に陥ってしまっている。それは、私が休日、何気なく自転車漕いでいた日のことだ。上には自動車の電光掲示板があった。普段は道の渋滞状況を表示しているが、その瞬間、表示が切り替わった。「宮ヶ瀬ダム 貯水率三十三パーセント」私はこれを見て、とても少ないと思った。日本は、地球全体で見て、雨が比較的多く降る地域に分類されている。もともと日本では、山地が多く、海が近いので、水が流れ出やすいという特徴があった。それでも、今までは貯水率五十パーセントほどはあった。それなのにここまで貯水率が低くなってしまっているのはなぜなのだろう。その背景には、「地球温暖化」が大きく関係している。現在、世界では石油や石炭、天然ガスといったエネルギーが使われている。これが原因で、二酸化炭素を排出し、地球規模で気温を上昇させている。この温度上昇によって、世界の各地で異常気象が発生しており、この影響が日本まで、広がってしまったということである。

地球温暖化による水不足の影響を受けているのは、日本だけではない。

茅ヶ崎市立鶴嶺中学校 三年 米山 瑛人

世界の人も同じ状況だ。例えば、「世界の屋根」と呼ばれているヒマラヤ山脈周辺では、かなり深刻な状態である。地球温暖化によって氷河が急速に溶けて、洪水や河川の枯渇を引き起こしている。また、アフリカのサヘル地域でも温暖化の影響を受けている。近年、温暖化による気温上昇で、水源の消失が起きていることが目立っている。このままいくと深刻な飢餓問題を迎えることになってしまう。さらに、水資源を巡る戦争が起きてしまうことが予測されている。このように、地球温暖化によって生活に不可欠な水が、手に入れない状況が起きている。今のまま、私たちが何も対策をしないのなら、二〇五〇年には人口の過半数が水不足に直面すると言われている。一刻でも早く、対策をしていかなければならない。

では、私たちはどうすればいいのか。一つ目は、水を大切に使うことだ。蛇口から出てくる水を有限の物であると捉え、使っていない時は閉めるようにする。こうすることで、普段の水のありがたみがわかるようになる。二つ目は、エネルギーを無駄にしないことだ。エアコンを必要な時だけ使うようにしたら、エネルギーの節約につながる。すると、地球温暖化の進行を抑えることにつながる。

私たちが当たり前に使っている水。それを使えなくなる日が、もうすぐ来るかもしれない。水不足を解消するには、さまざまな問題を解決しなければならぬ。しかし、解決しなければ、私たちは生きていくことさえ許されない。これから、水を当たり前のように使うために、一つ一つ小さなことでも、改善していくべきなのではないのだろうか。